

当院スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科を受診された患者様へ

この度、東京歯科大学口腔健康科学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

三叉神経痛の病型分類による差と MRI 検査による神経血管圧迫の程度による差の比較検討

2. 研究目的

三叉神経痛は口腔顔面領域の中でも発作性の激痛を主訴とする疾患です。その原因の多くは神経を血管が圧迫するためとされています。しかし、症状は三叉神経痛であるにもかかわらず、神経に血管の圧迫が認められない三叉神経痛や圧迫があっても三叉神経痛が発症しない例も珍しくありません。これは神経を血管が圧迫する以外に三叉神経痛の原因がある可能性を示唆しており、病態の更なる解明が必要であると考えております。この研究により新たな病態が解明できれば治療の選択肢が広がり、三叉神経痛にお悩みの患者様に対して貢献できるものと考えられます。

3. 研究方法

調査の対象となるのは、東京歯科大学水道橋病院に 2011 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 10 日までに来院し、三叉神経痛の診断を受けた方です。総症例数を算出するとともに診療録から性別、年齢、身長、体重、病歴期間、疼痛部位、検査内容、MRI 検査による神経血管圧迫の程度、治療内容、投与された薬物（種類、用法、用量）、治療後の経過を調査致します。データ全体の統計に加え、下位分類（典型的、二次性、特発性）による差、MRI による神経と血管の圧迫の程度による差も統計解析致します。

4. 研究期間

本研究の研究期間は、2022 年 4 月 15 日～2024 年 3 月 31 日です。

5. 研究により得られた結果等の説明に関する方針

研究により得られた情報は学会発表及び論文投稿という形で情報開示いたします。対象者個人に直接開示することはありません。

6. 個人情報等の取り扱い

匿名化したデータを使用しますのでご本人が特定されることはございません。また、個人情報の流出を防止するため、研究用のコンピューターはインターネット接続せず、さらに所定の場所（口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室）から移動しません。データは論文掲載から 5 年間研究責任者が管理し、その後破棄します。

7. 研究に関する情報公開の方法

東京歯科大学学会や口腔顔面痛学会、歯科麻酔学会などで学会発表、Pain に投稿を予定しています。

匿名化したデータを解析するため個人が特定されることは一切ございません。

8. 研究協力者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

この研究は、すでに得られたデータを用いて行いますので、新たな負担やリスクはありません。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

11. 費用等に関すること

新たに患者様に費用をご負担いただくことはございません。また謝金はありません。
この研究は講座研究費を用いて行い、関連する利益相反はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室

研究責任者（情報管理責任者）野口智康

連絡先 0352751795